

平成27年度「地域共生プロジェクト」実践概要

1 学校の概要

今治市の中心部から南に離れた桜井地区に位置し、周囲を田園地帯が広がる静かな環境にある。各学年4学級819名の生徒が在籍する。13年目を迎えた中高一貫教育校である。

2 実践のねらい

幼児との交流体験により子どもに対する理解を深め、その活動を通して子どもに対する愛情を育み、親や家族の役割の意義を認識し、他者を思いやる心や自己を肯定し大切にすることを育てる。

3 実践の内容

(1) 交流体験学習・・・各学級単位で保育所または幼稚園を訪問した。

ア 交流日時及び場所 11月12日(木) 1～4校時

学級	401	402	403	404
交流場所	志々満保育園	桜井保育所	唐子幼稚園	富田保育園

イ 事前に交流する幼児の年齢に応じた遊びなどを考え、準備した。

ウ 担当約1.5時間の交流を行った。

(2) 事前及び事後のアンケート調査

4 成果と課題

(1) アンケート集計結果(調査人数 事前 140名, 事後 138名)

事前アンケート結果				
1	あなたは、幼児についてどのようなイメージをもっていますか。	よい 56%	まあよい 40%	あまりよくない 4%
2	幼児の好きな遊びを知っていますか。	よく知っている 11%	まあ知っている 56%	あまり知らない。 32%
3-1	幼児教育や保育が人間の心身の発達に重要であることを知っていますか。	よく知っている 9%	まあ知っている 39%	あまり知らない。 52%
3-2	あまり知らない理由	興味・関心がない 28%	学習の機会がない 71%	保育園や幼稚園に通った経験がない 1%



事後アンケート結果				
1	積極的に交流体験に取り組みましたか。	よく活動できた 78%	普通に活動できた 21%	積極的に活動できなかった 1%
2	幼児の行動や特徴に対する理解を深めることができましたか。	よく理解できた 68%	まあ理解できた 29%	あまり理解できなかった 3%
3	保育士の仕事内容に対する理解を深めることができましたか。	よく理解できた 64%	まあ理解できた 34%	あまり理解できなかった 1%
4	幼児教育や保育が人間の心身の発達にとって重要であることが分かりましたか。	よく分かった 79%	まあ分かった 20%	あまり分からなかった 1%

(2) 成果と課題

ア 多くの生徒は、最初は緊張感を持って接していたが、次第に打ち解けて積極的に活動を行い、幼児との交流を深めることができた。

イ 短い時間であったが、園児と交流することによって、幼児の行動や特徴、保育士の仕事についての理解を深めるとともに、この体験を生かして自分の将来について考える生徒も多かった。

ウ 事前アンケート項目3-1及び3-2と事後アンケート項目4の結果から、生徒が幼児教育や保育の重要性を理解する上で、今回の交流体験が有益であったと考えられる。